

二〇一八年八月一日

盆公園見知らぬ子等の声高し

満天

絵日記の文字踊りをる西瓜割

智恵子

渋滞を抜けし車窓に青田風

智恵子

木隠れに盆灯籠の灯る家

うつき

二〇一八年八月九日

秋祭臨時の茶屋はみな氏子

さつき

山宿の霧晴れてより星月夜

はく子

二〇一八年八月八日

浜闊歩日焼自慢の男どち

せいじ

蓮皿におがらの箸や盆用意

明日香

二〇一八年八月七日

一幅に無と大書あり夏座敷

宏虎

玄関の庭草引くも盆用意

菜々

二〇一八年八月六日

潮騒の間遠に聞こゆ貝風鈴

はく子

顔知らぬ祖父の日記を晒しけり

もとこ

家事の手を止めて黙禱原爆忌

菜々

湖涼し遊覧船に灯が点り

愛正

二〇一八年八月五日

隠沼の水面余地なく菱の花

智恵子

二〇一八年八月四日

反り返る湯引きの鱧の白さかな

たか子

たつぷりと水打ち庭に風を呼ぶ

三刀

更け行くに手足揃ふや踊りの輪

満天

毎日句会みのる選・二〇一八年八月二日